

いいとも No.1

神明町の家電専門店「株新生堂」社長 阿部 悟さん(52) のご紹介は、駅前の飲食店「食い処みずしな」店主 水信 泰一さん(52)。

お二人は加茂小学校・加茂中学校の同級生で、中学時代は共に剣道部で汗を流していたそうですよ。居心地の良い馴染みの店があるっていいですね。

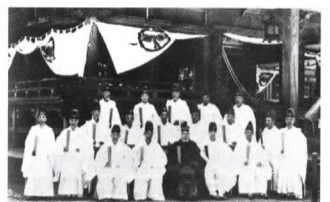


新年を迎え、心新たに過ごされていますと存じます。皆様の御多幸を御祈念申し上げます。

昨年、二十年に一度執行される伊勢神宮の式年遷宮が皆様の御奉賛に依り盛儀に執り行われました。神宮に鎮座する天照大御神を始めとする神々の宮殿、装束、神宝を全て新調する行事で、始まりは持統天皇の思し召しに依り、今回で第

十二回になり千三百年の歴史があります。その心は「常若（とこわか※1）」にあります。常に活力ある御神威を永遠に保つ事にあり、変遷を重ねるも古式を護っておりです。

この遷宮を定期的に行っている神社は出雲大社、特殊な形として諏訪大社等が有名ですが、我が青海神社も六十一年祭として六十年毎に執行する全国でも稀な神社です。最近では昭和五十



写真/大正9年の六十一年式年祭にて、神官等の記念写真。
「ふるさとの思い出写真集 明治、大正、昭和の加茂」より

五年に加茂を上げ盛大に行われました。今も明確に覚えている方も多くと存じます。御本殿の内陣を新調し浄壇の中遷宮式を行い、提灯行列や各種催し物等とても盛大でした。氏子、崇敬者の敬神の念により「常若」を維持して頂き今日に至っておりますし、信仰の証しとして在る品々、例えば江戸期に発見された「経筒」は県文化財に指定されていますが、鎮められた平安期を推測出来ますし、発見さ



れた折、江戸では瓦版が発行され、松平定信が著した集古十種にも記載があります。また、明治には岩倉具視の仲介により天覧(※2)の栄を受けました。

私共職員は、これらの背景に依り古例を護り次代に継げる様、神々に神明奉仕の誠を捧げるため日々勤めております。これからも宜しくお願いいたします。

(※1) いつまでも若々しいこと
(※2) 天皇陛下が観覧されること